

頭部MRI検査中の騒音について

騒音レベルの代表例

会話不可能	140dB	航空機のジェットエンジンの近く
	120dB	MRI撮影時の騒音レベル(最大値)
	110dB	自動車のクラクション
	100dB	列車が通過する時の高架下
会話困難	80dB	地下鉄車内
	70dB	掃除機
会話可能	60dB	一般的な会話
	40dB	静かな住宅地
	20dB	木の葉がすれ合う音

※ dB:音の大きさを表す単位

MRI検査時に発生する騒音は脳の撮像法で **120dB** にも達します。
当クリニックでは、現在臨床現場で使用されているMRI装置の中で最も磁場強度が強い3テスラMRI装置を使用しています。3テスラMRIでは非常に鮮明な画像を撮影することができます。

より鮮明な画像を撮影するための工夫として、画像の作成に必要なMRI信号を人体の中から効率良く収集するために、人体と装置(コイル)との距離が狭く作られています。

画質が向上する一方で、ヘッドフォンなどの防音器具が装着できない仕様となっています。

撮影時には耳栓を装着していただきますが、それでもかなりの騒音があります。

受診者の皆様には、騒音による苦痛をお掛けしますが、＜最高度に鮮明な画像を撮影するため＞とのご理解を何卒宜しくお願い致します。

